



福山市立有磨小学校 4年学年通信 2025年(令和7年) 11.20 NO.20

餅つきが上手くなっていました

地域の方やお家の皆さんの力を借りて餅つきをしました。火曜日の放課後から餅つきの道具の準備をしたりもち米を洗ったりと、多くの人に参加してくださり準備をしました。また、当日は8時前からテーブルを準備したりもち米を蒸したりしてくださって、3時間目の開始に合わせ28人の方が準備をしてくださいました。

今日、3・4時間目に餅つきをしました。私は、初めに友だちがもちをつくのを見ました。みんなでつくしゅんかんに、声を合わせて、「よいしょ。」と言いました。友だちが、もちをつきおわったら「やっと、こねられる。」と思いました。しかし、人数が多かったので、4・5こしかこねられずショックでした。次に、いよいよ、もちをつく番がやってきたのでとてもうれしかったです。私の番になって、もちをついたらとても楽しかったです。今日は、わたしたちのために、準備をしてくださり本当にありがとうございました。よい思い出ができました。私は、家でも餅つきができるようになったので、がんばって一人でもちつきがしたいです。

終わりに、手伝ってくださった方にお礼を言いました。「誰かお礼を言ってくれる人はいませんか。」と、こどもたちに聞くと、下江さんが立候補してくれました。参加されていたお母さんに話を聞くと、「今までは、恥ずかしくてやらなかったのに・・・」と話されていました。

今日は、私たちのために、もちつきの準備をしてくださりありがとうございました。私が楽しかったことは、みんなで交互にもちをついたり、もちを丸めたりしたことでした。四年生は、餅つきや稲刈り、田植えが最後になるので、とても良い思い出になりました。今日は、ありがとうございました。

人前で話をするというのは、とても勇気がいり不安なものです。しかし、そのことを繰り返しながら、話し方を学んだり、自信を持つことにつながったりすることが出来ます。自分を高めるための機会やチャンスは、学校生活の中で多々あります。そんな機会をしっかりと生かして、自分自身を高めてもらいたいものです。

餅つきの後、こどもたちは教室に戻り、餅つきの振り返りをしました。しかし、その間も地域の方やお家の方が、片づけをしたりついたもちをこどもたちが持って帰られるように袋詰めしてくださったりしていました。この餅つきが、多くの人との協力でできたことに感謝するとともに、「有磨のよさ」に改めて気づかされました。本当にありがとうございました。

